

副学校長 戸塚喜久子

看護師になりたい！そう思ったきっかけは何だったのでしょうか。自分や家族が病気になったとき、事故や災害でケガや入院をしたときなど、様々な体験からそう思った人も少なくはないのではないでしょうか。ある学生の話です。「清拭の技術を習ったけど、体を清潔に保つことが主な目的だと考えていました。しかし、しんどくて入浴できない患者さんに暖かいタオルで清拭したところ、あー、気持ちいい！と言って下さり、それからみるみる表情がよくなり、元気になっていったんです！」と嬉しそうに語ってくれました。これは、まさしく看護なのです。そして、なぜしんどいのか、なぜ入浴できないのか、病気を理解することが大切であることにも気づくことができました。そうすると、自らの行動にも変化が現れます。自ら学習していくことでわかることが楽しくなってくる。このように、自分の足で立って歩いて行ける人になってほしいと願い、サポートしていきたいと思っています。